

大量のゴミが漂着!!

～6月29日から7月1日の大雨で
遠賀川河口堰に大量のゴミが
流れ着きました～

遠賀川河口堰上流左岸側（7月2日9:00撮影）



6月29～7月1日の大雨によって、遠賀川河口堰に大量のゴミが流れ着きました。

ゴミの量は推定で約1,000^mの見込みです。これは小学校の25mプール（25m×10m×1m）で約4杯分にあたります。

塵芥流出状況（7月2日9:00撮影）



ゴミは、河口へと流れ出て海岸や港湾施設に打ち寄せられることが予想されるため、遠賀川河川事務所が所有する水面清掃船等により7月3日から1～2週間で撤去作業を行っていく予定です。

ゴミの多くは草木類です。その他ペットボトル、発砲スチロール等の生活ゴミですが、タイヤ等ありとあらゆる種類のゴミが混在しています。

遠賀川はみんなの川です。その水は多くの人々の飲み水に利用されています。今後も流域内の関係機関や住民団体等と連携し、ゴミ問題に取り組んでいく考えです。

【この記者発表に関する問い合わせ先】

国土交通省 遠賀川河川事務所 管理課
課長 篠原 昌秀

TEL 0949-22-1830
係長 松本 秀一

国土交通省 遠賀川河川事務所 河口堰管理支所
支所長 中司 哲夫

TEL 093-201-1675
係長 深浦 貴之

(参考資料)

○近年のゴミ回収量

遠賀川河口堰は、水巻町と芦屋町にまたがる遠賀川最大（長さ517m）の可動堰です。遠賀川の最下流に位置する河口堰には、大雨が降って洪水になる度に遠賀川流域のゴミが大量に流れ着きます。その量は洪水の規模や回数に左右されますが、近年の河口堰で回収したゴミの量は下表のとおりで、処理費用は年間約2千万円程度です。

年	ゴミの量
平成11年度	2,700 m ³
平成12年度	1,200 m ³
平成13年度	900 m ³ （堰全開操作有り）
平成14年度	800 m ³
平成15年度	2,600 m ³ （堰全開操作有り）
平成16年度	3,200 m ³
平成17年度	600 m ³
平成18年度	3,400 m ³
平成19年度	1,340 m ³
平成20年度	2,300 m ³
平成21年度	約1,000 m ³ （7月1日現在）

*河口堰のゲート操作は、ゴミを下流に流出しないように細心の注意を払いながら操作していますが、平成13年度と平成15年度には非常に大きな洪水があり、安全のためゲートを全開しなければなりません。したがって実際に漂着したゴミの量は、上表の回収量より多かったと推定しています。堰下流から海の方へ流出したゴミは、海岸や漁港へ漂着して問題となりました。

○今後の予定

河口堰への流入量が少なくなってゴミの回収開始作業の完了は、7月中～下旬まで要すると見込んでいます。

※塵芥回収イメージ



岸の方へ引き寄せた後は、バックホウで掴み取り、山積みにした後に分別作業を行います。

今回の出水では、遠賀川10k600付近（中間市役所付近）から上流の高水敷が浸水しました。高水敷を超える出水になると河口堰に多くの塵芥が流出してきます。